



衆議院議員

木村 弥生

現場で大変な思いをして地域の医療と健康福祉をお守りくださっている看護職の仲間たちを誇りに思います。

私は、2014年12月に政界へお送りいただきました。今年で7年目となりますが、看護と看護職の皆さまのために議員バッジをつけて仕事をさせてもらっているとの思いを忘れたことはありません。

コロナ禍は、これまで硬直化していたものが、大きく動く契機にもなりました。感染症対策がまさにそうです。ワクチンの接種も進んでいます。

速やかに皆さまの健康と安心を取り戻し、看護職が疲弊せずいきいきと働き続けられる環境づくりに力を尽くしてまいります。

誰もがより健康で活躍できる社会へ。「コロナの後のほうが日本は良くなった」と実感できる日本を築いてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いたします。皆さまのお役に立てられるようがんばります。



自民党政務調査会副会長
参議院議員

たかがい 恵美子

栃木県看護連盟の皆様、いつも人に温かく寄り添い、尊い命をお支えいただき誠にありがとうございます。コビット19流行が続く中、重症化リスクの高い方から一刻も早く予防接種をお届けできるよう最大限の努力を進め、いのちの最前線で貢献する看護職の安全確保と処遇改善に全身全霊を傾けて参ります。また、感染症対応職員のリフレッシュ休暇・家族ケア技術料の評価・感染力低下後の療養体制の整備、定期的な自主検査機会の無償提供、医療福祉系学生へのワクチン優先接種と実習緩和など、現場から具体的に6051項目のご要望を頂戴しています。人々の大切な命を守るには、看護職自身の健康と安寧を保たねばなりません。少々お時間をいただくこととなりますが、ひとつひとつの課題と向き合い丁寧に対応を進めてさせていただきます。

これからも皆様とともに、看護職が楽しく・豊かに・堂々と活躍できるようがんばります。



参議院議員

石田 昌宏

栃木県看護連盟のみなさま、日頃よりご支援を賜りありがとうございます。

新型コロナウイルス（以下コロナ）は猛威をふるい続け、収束には至っていませんが、徐々にワクチンの接種が広がり、新たなフェーズへと移行しつつあります。コロナ対策を続けつつ、コロナ前の当たり前の日常を取り戻せるよう、前を向いていきましょう。

今年もコロナの対応に奔走する日々を送っています。現場の声を受け、医療・介護従事者が業務でコロナに感染した場合、労災給付の対象となることや、ワクチンの優先接種では、当初対象でなかった訪問看護師や助産所の従事者、実習を行う看護学生等を加えられました。また、来年の診療報酬改定に向けても目を光らせています。

コロナが発見されてから常に最前線で戦い、国民の支えとなっているのは看護師です。厳しい戦いは続いています。現場の声を引き続きお聞かせください。私も国会という現場で、日本の医療を守るために戦い続けます。



足利市議会議員

中島 まゆみ

昨年来、新型コロナウイルス蔓延により、看護連盟の皆様におかれましては、まさに現場の最前線で戦って頂いておりますこと、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

私が所属する自民党では、すでにご存知の通りワクチン接種を感染対策の「切り札」と位置付けており、出来るだけ早い段階で希望者へのワクチン接種を完了させる事を目標に様々な対策を行っています。

栃木県においても、7月15日の時点で接種希望の高齢者の約5割が2回の接種を完了するなど比較的順調に接種が進んでいます。これは大変難しい状況の中でも、現場で対応して頂いている看護職の皆様の日々のご尽力の賜物と、痛感しております。これから接種対象者の年齢が広がって行く中で、特に若い世代で接種に不安をお持ちの方や消極的な方に如何に納得して接種をしていただくか、市民と一番距離の近い市議会議員として、正しい情報を出来るだけ多くの方に伝える活動を積極的に行わなければならないなと感じており、身の引き締まる思いです。

最後になりますが、看護連盟の皆様のご健康をご祈念するとともに、引き続きのコロナ対応を切にお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。